

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 城東区
学校名 関目東小学校
学校長名 根岸伸之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・関目東小学校では、第6学年93名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の学力調査結果では、国語と算数の平均正答率はそれぞれ69.0%、60.0%と、大阪市および全国平均を上回った。一方、理科は54.0%で全国平均の57.1%を下回り、特に「エネルギー」領域の正答率が低かった。分野別では、国語の「書くこと」、算数の「測定」で高い成果が見られた。無解答率に関しては全教科で大阪市・全国平均より高く、特に算数では5.1%と課題が残る結果となった。これらのことから、国語・算数の基礎的な学力は概ね身についている一方で、理科の特定分野や無解答率の高さに対する対策が必要であると考えられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 平均正答率が69%と全国平均を上回り、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の領域で高い成果が見られた。表現力や考えをまとめる力が育っていることがうかがえる一方、「読むこと」の正答率はやや低く、文章の内容を的確に読み取る力に課題がある。また、「情報の扱い方」に関する問題でも得点が伸び悩んでおり、情報を整理し理解する力の育成が今後の指導課題である。

〔算数〕 平均正答率が60%と全国平均を上回っており、「測定」や「変化と関係」の領域で特に高い成果が見られた。これにより、数量や関係を捉える力が育っていることがうかがえる一方で、「図形」分野の正答率はやや低く、空間認識力や図形の性質に関する理解が課題である。また、全体的に無解答率が高く、問題に取り組む意欲や時間配分の工夫も今後の指導で重視すべき点である。

〔理科〕 「地球」に関する領域で高い正答率を示し、観察や自然現象への理解が定着していることがうかがえる。「粒子」や「生命」の領域も全国平均に近い水準を保っている一方で、「エネルギー」分野では全国平均を大きく下回り、基礎的な知識や概念の理解に課題が見られる。また、無解答率が高いことから、問題に対する意欲や取り組み方にも改善の余地があり、今後の丁寧な指導が求められる。

質問調査より

本調査の結果から、児童の基本的な生活習慣が整っており、毎日朝食をとる、同じ時間に起きるなどの行動が定着していることがわかる。また、自分のよさを認識し、将来の夢や目標を持つ児童が多く、自己肯定感や主体性が育まれていることも大きな成果である。さらに、人が困っているときに助ける、いじめはどんな理由でも許されないとといった意識も高く、他者への共感や倫理観、友人関係の満足度の高さから、人間関係の良好さも見て取れる。先生や大人への信頼感も厚く、相談しやすい環境が整っている点も心の安定に寄与している。一方で、学校生活を「楽しい」と感じている児童の割合が全国平均よりやや低いこと、ICT機器を活用した学習時間が短いことが課題として挙げられる。また、休日の学習時間にはばらつきがあり、全く学習しない児童の割合も高めである。学習塾や家庭教師の利用は多く、発展的な学習をしている児童もいるが、学習習慣や機会の差が広がる可能性もある。今後は、児童の学びへの関心をより高める工夫と、ICTの活用促進、学習習慣の定着を支援していくことが重要である。

今後の取組(アクションプラン)

今回の学力調査および意識調査の結果から、児童の基礎的な生活習慣や学習意欲、自己肯定感は概ね良好であり、教科ごとの学力面でも全国平均を上回る成果が見られた。一方で、文章を的確に読み取る力や情報を整理して活用する力、図形やエネルギー分野の理解、ICT機器の活用、さらには無解答率の高さといった課題も明らかとなつた。これらを踏まえ、今後は「思考力・判断力・表現力」を高める授業改善を進めるとともに、読解力を育成するための言語活動の充実、図形・エネルギー分野での体験的学習の工夫を図る。また、家庭学習の習慣化やICT活用の指導も強化し、自主的な学びを支援する。さらに、無解答を減らすため、問題に粘り強く取り組む態度の育成と、時間配分の指導も行う。児童の思いやりや社会性の高さを土台に、安心して挑戦できる学習環境づくりを進め、すべての児童が学びに前向きになれるよう、学校全体で一体的な取り組みを推進していく。

【 全体の概要 】

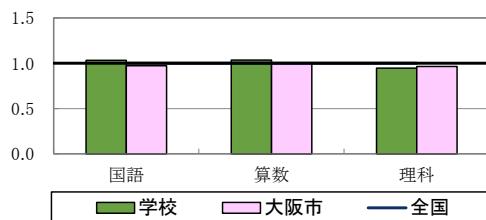
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	69	60	54
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

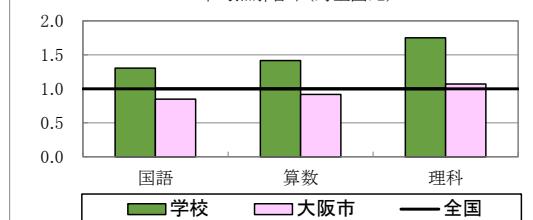
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.3	5.1	4.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



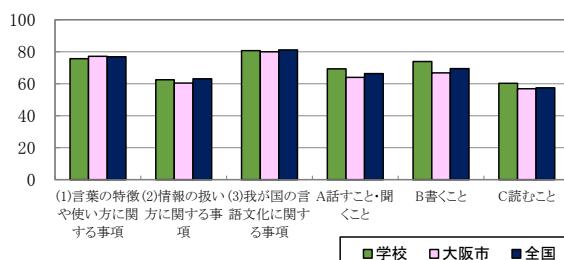
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	75.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	62.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	80.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	69.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	73.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	60.2	56.9	57.5

【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.6	62.7	62.3
B 図形	4	57.1	56.4	56.2
C 測定	2	64.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	62.9	58.2	57.5
D データの活用	5	62.5	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



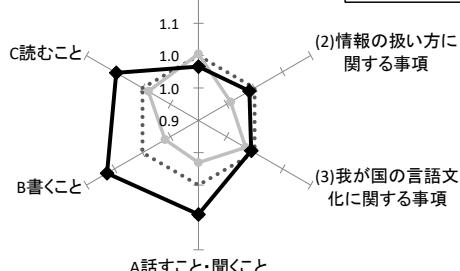
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方にに関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項

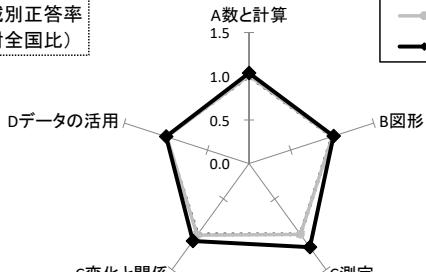
..... 全国
— 大阪市
— 学校



算数
領域別正答率
(対全国比)

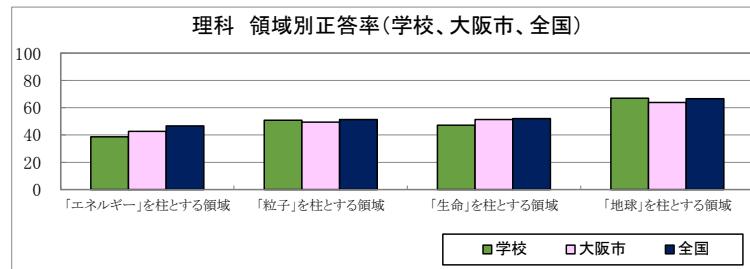
A数と計算
B図形
C測定
C変化と関係
Dデータの活用

..... 全国
— 大阪市
— 学校

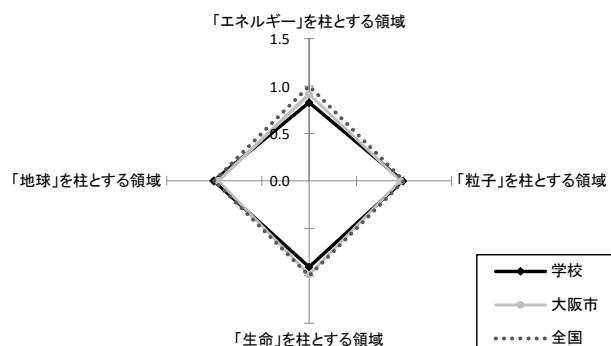


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を柱とする領域	4	38.6	42.7	46.7
	6	50.8	49.5	51.4
B 区分 「粒子」を柱とする領域	4	47.2	51.4	52.0
	6	67.0	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



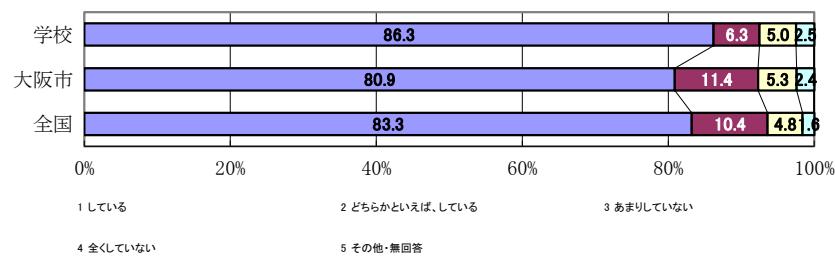
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

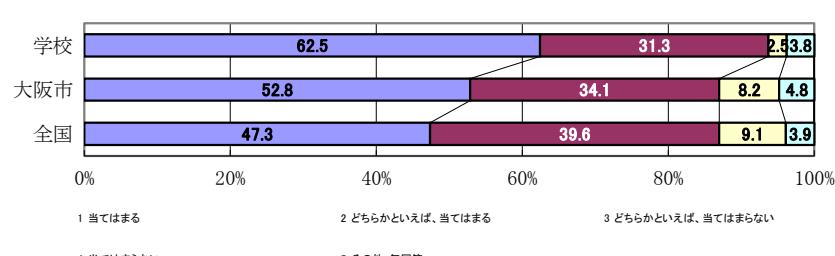
1

朝食を毎日食べていますか



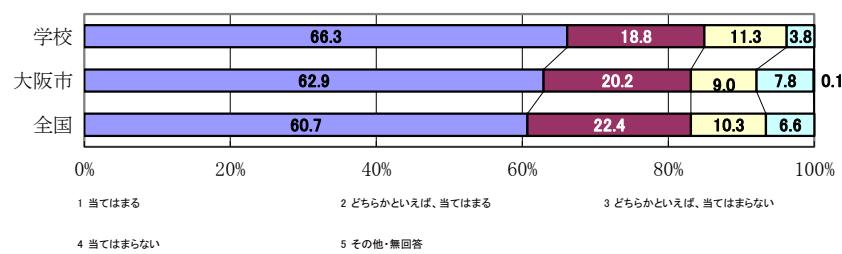
5

自分には、よいところがあると思いますか



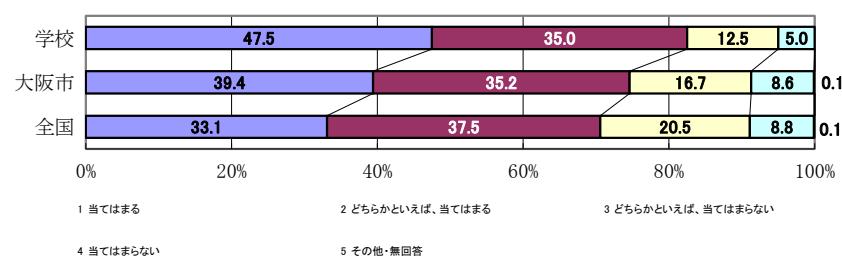
7

将来の夢や目標を持つていますか



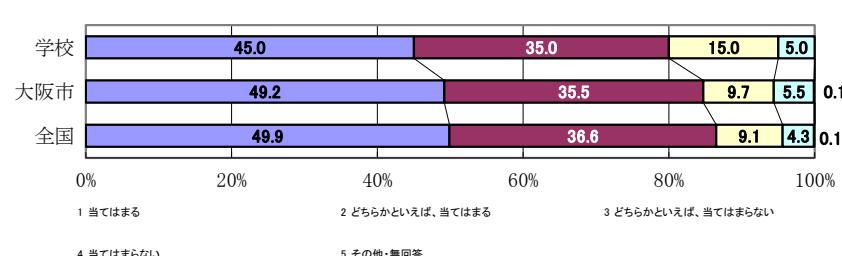
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



学校質問より

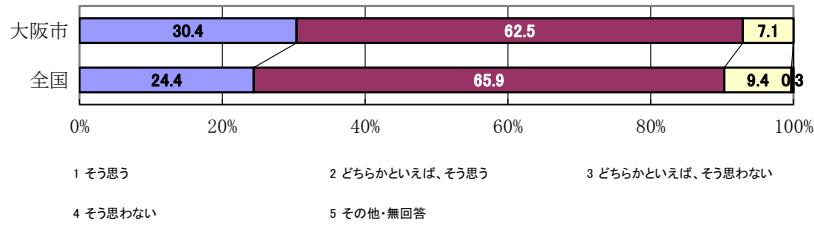
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いませんか

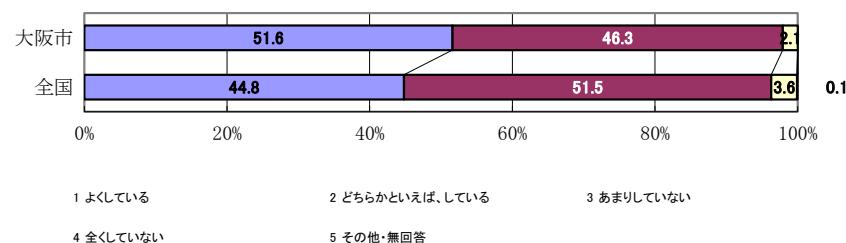
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

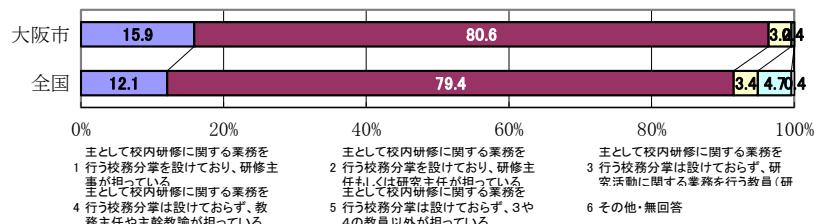
学校 「よくしている」を選択



20

校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

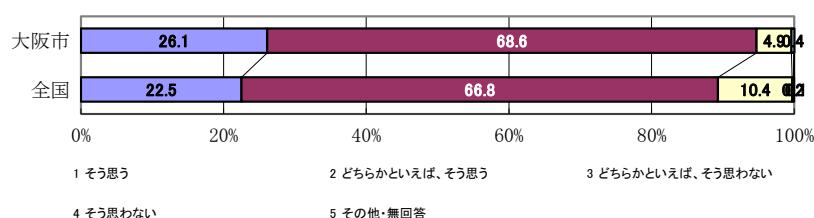
学校 「主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主任もしくは研究



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

